



2024年12月期第3四半期決算説明資料

2024年11月
株式会社セレス（東証プライム市場：3696）





INDEX

1. 連結決算の概要

2. 各事業の業績

モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

APPENDIX



1. 連結決算の概要



2024年度第3四半期累計 実績

売上高	20,218 百万円	(+16.9%)
営業利益	1,429 百万円	(+94.2%)
経常利益	1,524 百万円	(+107.5%)
当期純利益	845 百万円	(+660.4%)

- 売上高は3Q累計で過去最高、対予想も順調に進捗
- 粗利率は48.1%と前年比5.2ポイント改善、営業利益も前年比約1.9倍の14.2億円
- 3Qの暗号資産価格の下落によりBB※の持分法投資利益は上期累計より縮小し0.9億円に

※「BB」：ビットバンク株式会社

モバイルサービス事業

売上高	19,162 百万円	(+13.4%)
営業利益	3,052 百万円	(+35.0%)

- モッピーの粗利率は高水準を維持
- 3QのD2C売上高は過去最高の19.3億円
- ゆめみは課題だった受注が改善・稼働率が回復

フィナンシャルサービス事業

売上高	1,065 百万円	(+162.0%)
営業利益	▲735 百万円	(77百万円赤字拡大)

- 2Q・3Qの暗号資産相場下落によりマーキュリーはマイナスの売上高を計上
- ラボルのファクタリングが好調に推移し3QのGMVは前年比3.7倍と大幅伸長



ポジティブ

モッピーの粗利率改善

2023年3Q

22.9%



2024年3Q

28.5%

- AD.TRACK連携は2Qの高水準を維持
- 一部ポイント原価の計上が4Qに期ずれ

D2Cで過去最高四半期売上高を計上

2023年3Q

1,433百万円



2024年3Q

1,937百万円

- オイグルト・エニピルが好調に売上拡大し、+35.2% (YoY)
- ピットソールはSKU※拡充により販売が堅調

※「SKU」：在庫管理上の最小の品目数 (Stock keeping Unitの略)

DX (ゆめみ) の受注改善

2023年3Q

1,272百万円



2024年3Q

1,596百万円

- デザイン案件をフックにした案件大型化
- 営業強化施策が奏功しエンタープライズ向けの受注が好調で、受注額+25.5% (YoY)

ネガティブ

暗号資産価格下落により損失を計上

マーキュリー

2024年3Q

営業損失

▲233百万円

ビットバンク

2024年3Q

持分法投資損失

▲142百万円

損益計算書の概要（第3四半期累計）

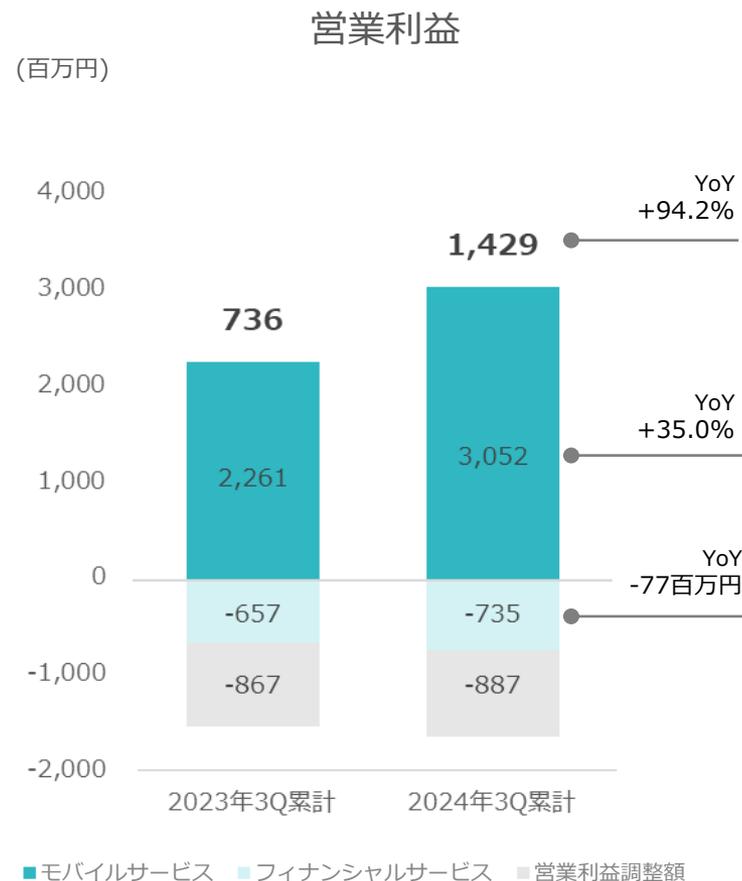
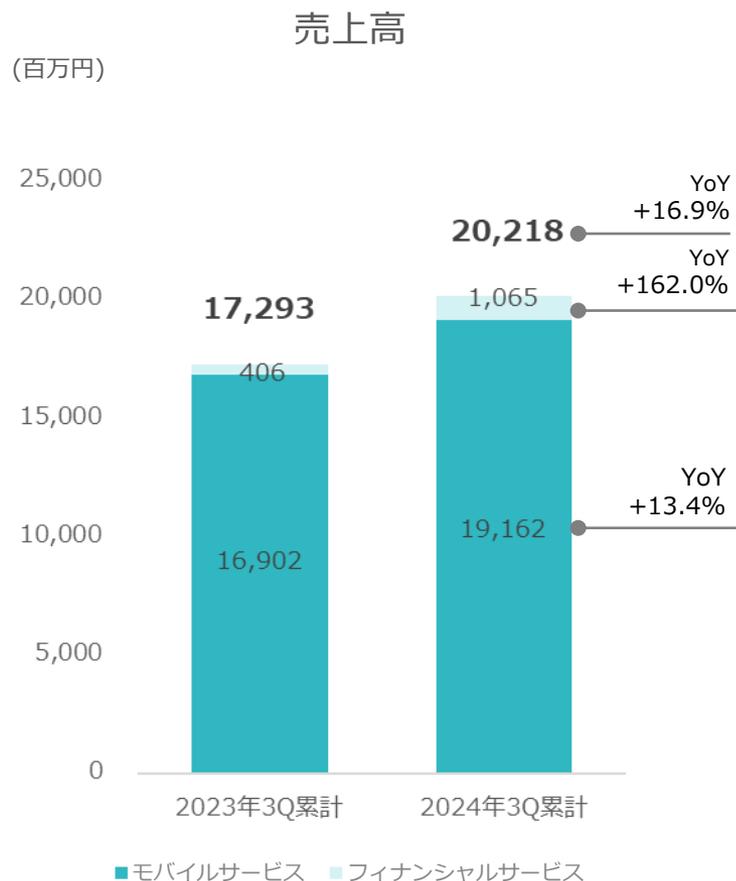


(単位：百万円)	2024年12月期 第3四半期累計	2023年12月期 第3四半期累計	前年同期比
売上高	20,218 (100.0%)	17,293 (100.0%)	+16.9%
売上総利益	9,726 (48.1%)	7,419 (42.9%)	+31.1%
販売費及び一般管理費	8,296 (41.0%)	6,683 (38.6%)	+24.1%
営業利益	1,429 (7.1%)	736 (4.3%)	+94.2%
経常利益	1,524 (7.5%)	734 (4.2%)	+107.5%
当期純利益※1	845 (4.2%)	111 (0.6%)	+660.4%
EBITDA※2	1,831 (9.1%)	1,141 (6.6%)	+60.4%

※1 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 評価損

売上高はモバイルでモッピー・D2C、フィナンシャルでラボル好調で過去最高
 営業利益はモバイル好調により2-3Qのマーキュリーの損失カバーし前年比1.9倍



※ セグメント間の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

※ 営業利益調整額は特定のセグメントに帰属しない費用項目です。

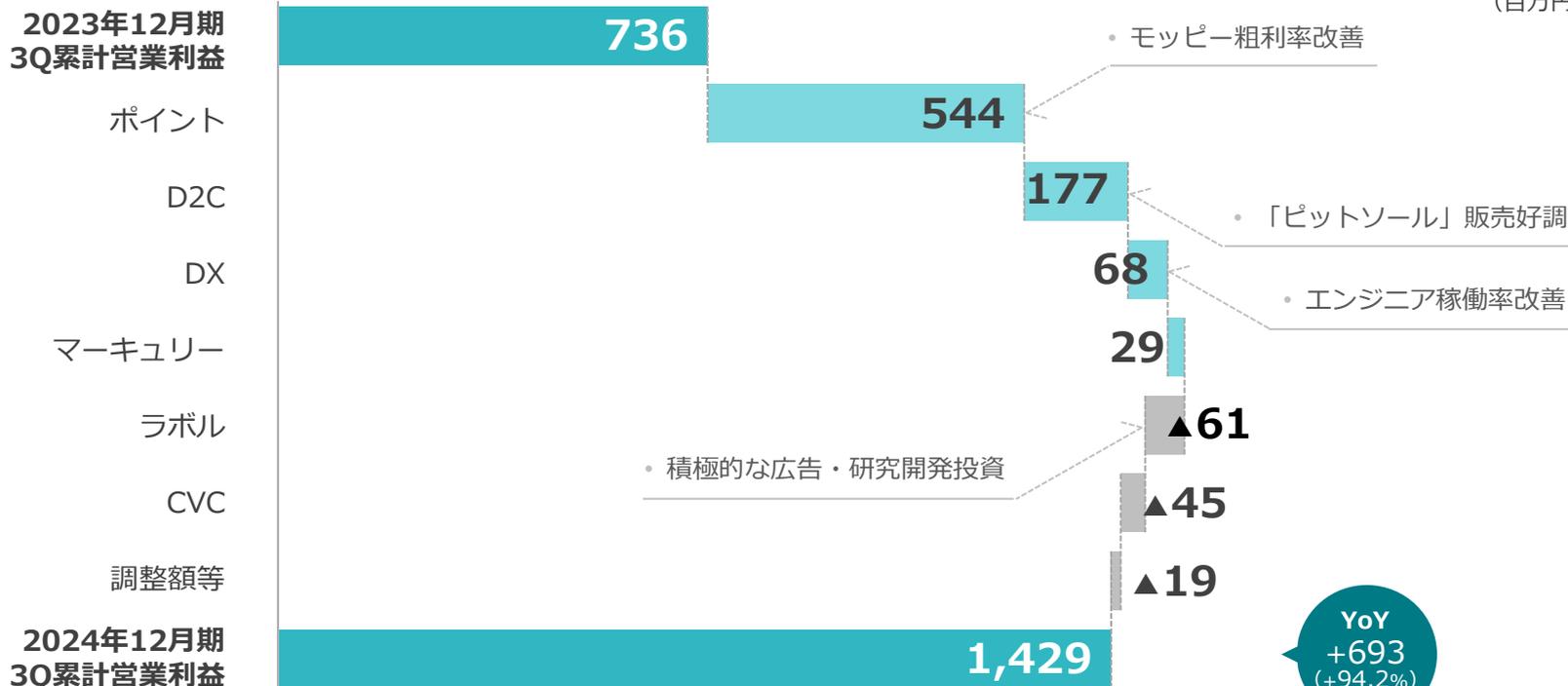
セグメント別業績（第3四半期累計）

(単位：百万円)	売上高		営業利益	
	2024年12月期 第3四半期累計	2023年12月期 第3四半期累計	2024年12月期 第3四半期累計	2023年12月期 第3四半期累計
全社	20,218 YOY +16.9%	17,293	1,429 YOY +94.2%	736
モバイルサービス事業	19,162 YOY +13.4%	16,902	3,052 YOY +35.0%	2,261
ポイント	10,480 YOY +2.7%	10,209	2,271 YOY +31.5%	1,727
D2C	5,437 YOY +67.2%	3,252	738 YOY +31.7%	561
DX	3,354 YOY -5.9%	3,565	139 YOY +98.2%	70
セグメント内取引高	-109 YOY -	-124	-96 YOY -	-97
フィナンシャルサービス事業	1,065 YOY +162.0%	406	-735 YOY -	-657
セグメント間取引高 / 調整額	-9 YOY -	-15	-887 YOY -	-867

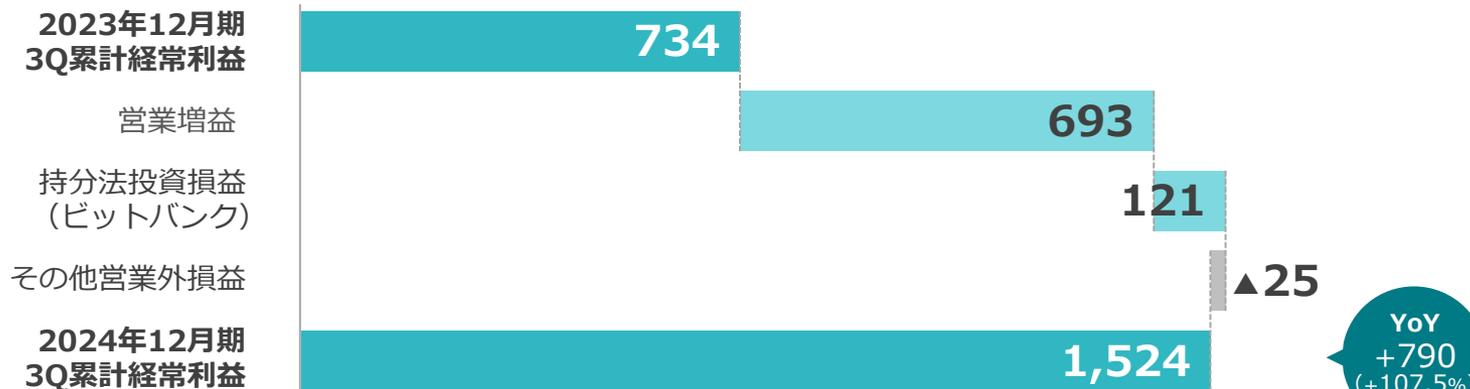
営業利益・経常利益の増減要因（第3四半期累計）

(百万円)

営業利益



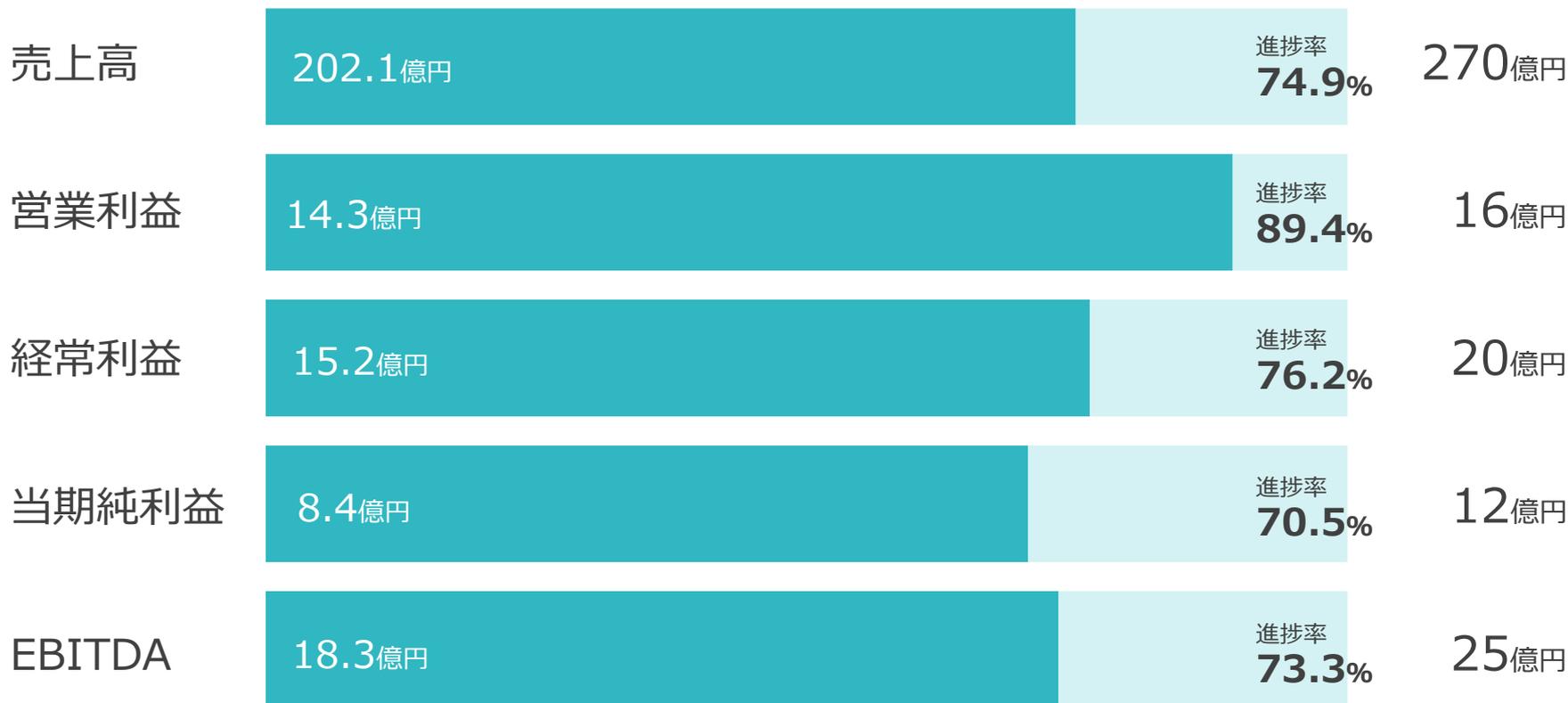
経常利益



売上高はD2C好調でDX・マーキュリーの進捗遅れをカバーし順調に推移
利益はモッピー・D2Cが好調に推移し、暗号資産相場低調も想定を上回る進捗

3Q累計実績

【業績予想値】



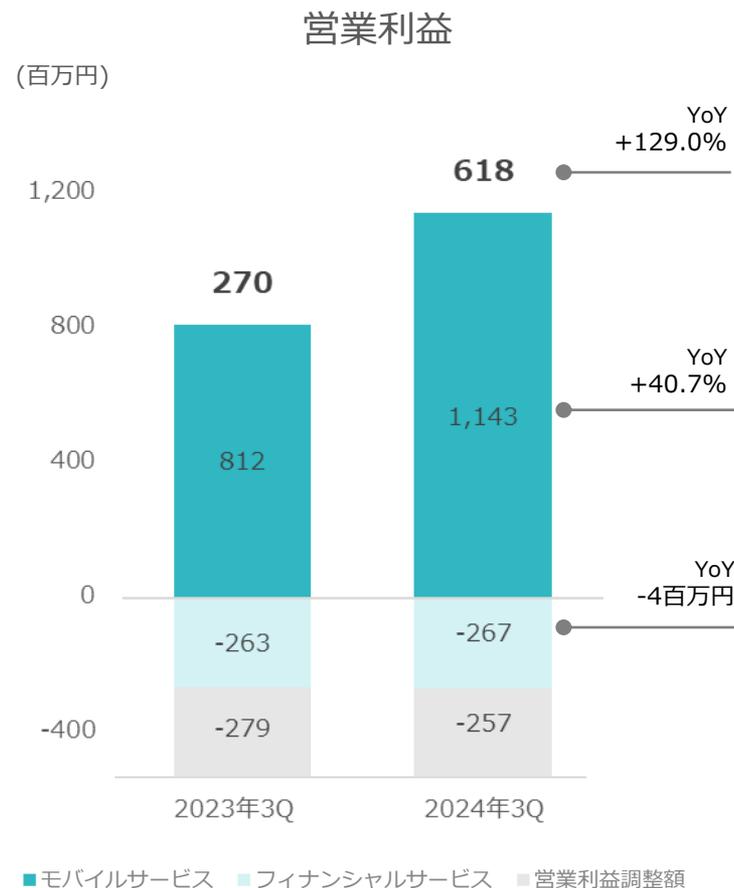
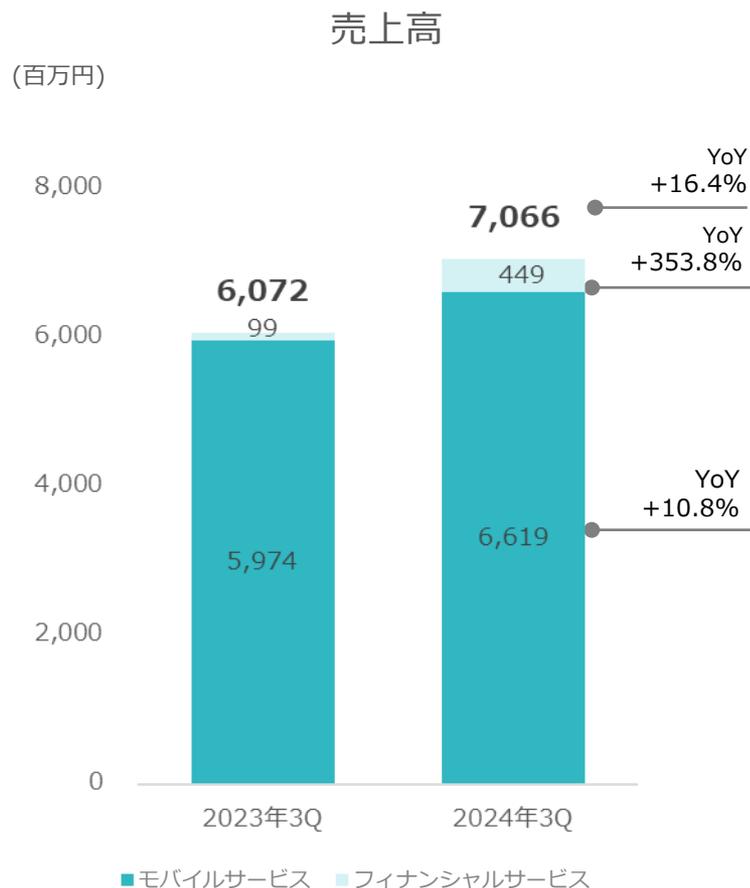
損益計算書の概要（第3四半期）

(単位：百万円)	第3四半期 (2024年7-9月)	前年同期 (2023年7-9月)	前年同期比	前四半期 (2024年4-6月)	前四半期比
売上高	7,066 (100.0%)	6,072 (100.0%)	+16.4%	6,433 (100.0%)	+9.9%
売上総利益	3,487 (49.3%)	2,842 (46.8%)	+22.7%	2,946 (45.8%)	+18.4%
販売費及び 一般管理費	2,868 (40.6%)	2,572 (42.4%)	+11.5%	2,848 (44.3%)	+0.7%
営業利益	618 (8.8%)	270 (4.4%)	+129.0%	98 (1.5%)	+529.8%
経常利益	454 (6.4%)	203 (3.3%)	+123.8%	-71 (-)	-
四半期純利益※1	172 (2.4%)	-242 (-)	-	-159 (-)	-
EBITDA※2	591 (8.4%)	345 (5.7%)	+71.1%	-15 (-)	-

※1 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 評価損

売上高はモッピー好調に加え、D2C販売好調により過去最高を更新
 営業利益はモバイル好調により暗号資産相場下落の影響をカバーし前年比2.3倍



※ セグメント間の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

※ 営業利益調整額は特定のセグメントに帰属しない費用項目です。

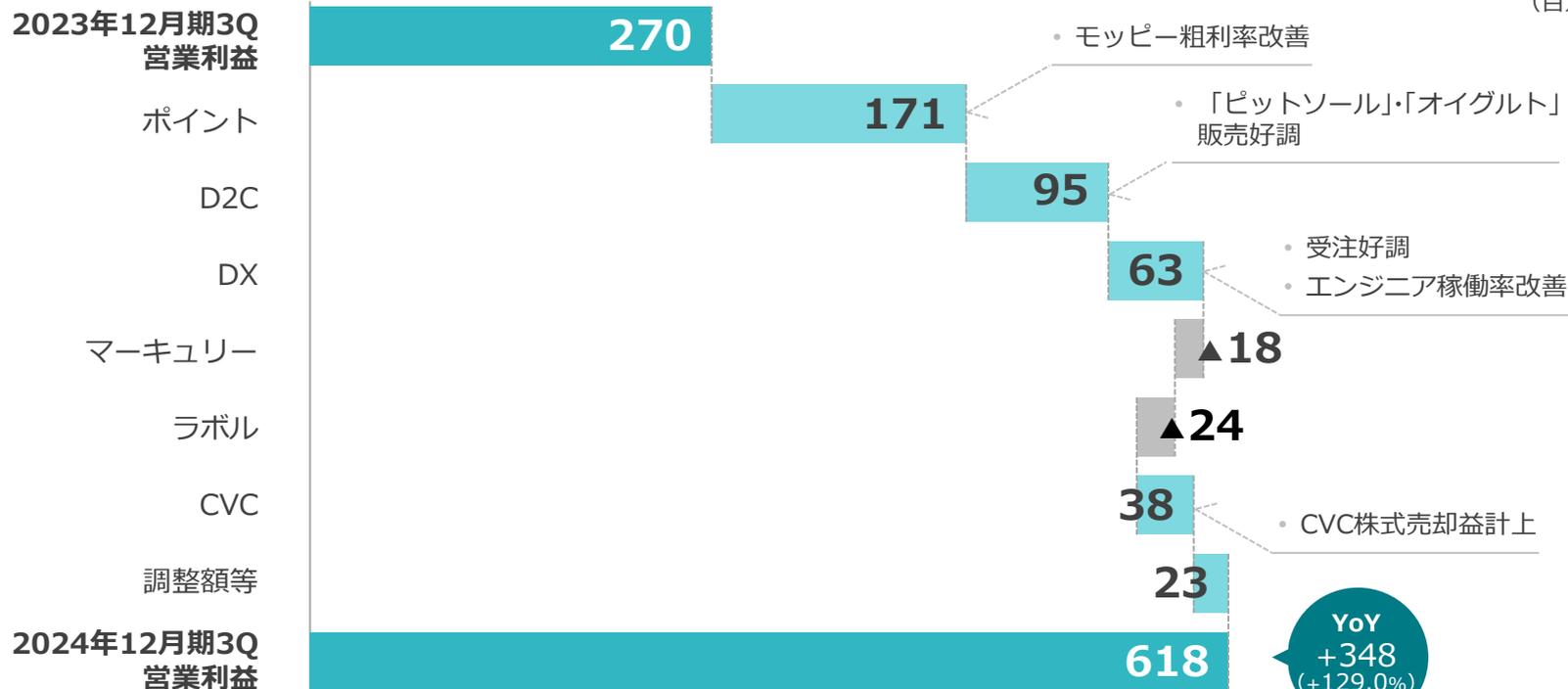
セグメント別業績（第3四半期）

(単位：百万円)	売上高		営業利益	
	第3四半期 (2024年7-9月)	前年同期 (2023年7-9月)	第3四半期 (2024年7-9月)	前年同期 (2023年7-9月)
全社	7,066 YOY +16.4%	6,072	618 YOY +129.0%	270
モバイルサービス事業	6,619 YOY +10.8%	5,974	1,143 YOY +40.7%	812
ポイント	3,473 YOY +4.5%	3,324	784 YOY +28.1%	612
D2C	1,937 YOY +35.2%	1,433	248 YOY +63.0%	152
DX	1,244 YOY -0.4%	1,250	143 YOY +78.5%	80
セグメント内取引高	-35 YOY -	-32	-32 YOY -	-32
フィナンシャルサービス事業	449 YOY +353.8%	99	-267 YOY -	-263
セグメント間取引高 / 調整額	-2 YOY -	-1	-257 YOY -	-279

営業利益・経常利益の増減要因（第3四半期）

(百万円)

営業利益



経常利益



貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2024年12月期 第3四半期末	2023年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産		21,031 (70.3%)	17,586 (67.9%)	+3,444	現金及び預金 +2,656 営業投資有価証券 -369 商品在庫 +968
	固定資産	8,894 (29.7%)	8,328 (32.1%)	+566	のれん -154 ソフトウェア +139 関係会社株式 +22
資産合計		29,925 (100.0%)	25,915 (100.0%)	+4,010	
流動負債		15,168 (50.7%)	13,451 (51.9%)	+1,716	短期借入金 +916 ポイント引当金 +203 未払法人税等 +83
	固定負債	3,593 (12.0%)	2,417 (9.3%)	+1,176	長期借入金 +965
負債合計		18,762 (62.7%)	15,869 (61.2%)	+2,892	
純資産合計		11,163 (37.3%)	10,045 (38.8%)	+1,117	当期純利益 +845 配当金 -228
負債・純資産合計		29,925 (100.0%)	25,915 (100.0%)	+4,010	

株主還元（配当及び株主優待）

株主還元方針

- 当社は株主に対する利益還元を重要な経営上の施策と認識
- 株主還元については、安定性および継続性に配慮しつつ、業績動向・財務状況等を総合的に勘案して実施していく方針

24年12月期は上場10周年配当を追加し合計40円の配当

- 通常の期末配当20円に加えて、上場10周年記念配当として20円を追加し合計40円の配当

株主優待として、10,000円相当の暗号資産を贈呈

- 24年12月末の時点で100株以上保有の株主を対象に株主優待を実施
- イーサリアム（ETH）とジパングコイン（ZPG）をそれぞれ5,000円相当、合計10,000円相当を贈呈
- 当社グループのサービスを体験していただくことで事業理解の促進が狙い

株主還元の推移

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期（予想）
1株当たり配当金	20円	20円	40円
1単元あたり配当金	2,000円	2,000円	4,000円
株主優待内容	—	—	1単元以上 暗号資産10,000円相当
株主還元額 (1単元保有の場合：配当額+株主優待)	2,000円	2,000円	14,000円相当

※ 2024年12月期予想1株当たり配当金40円と株主優待を合算した、株主実質利回りは 2024年11月7日現在の当社株価1,686円に対して8.3%となります。（当社株式を 1 単元以上保有いただいた場合）

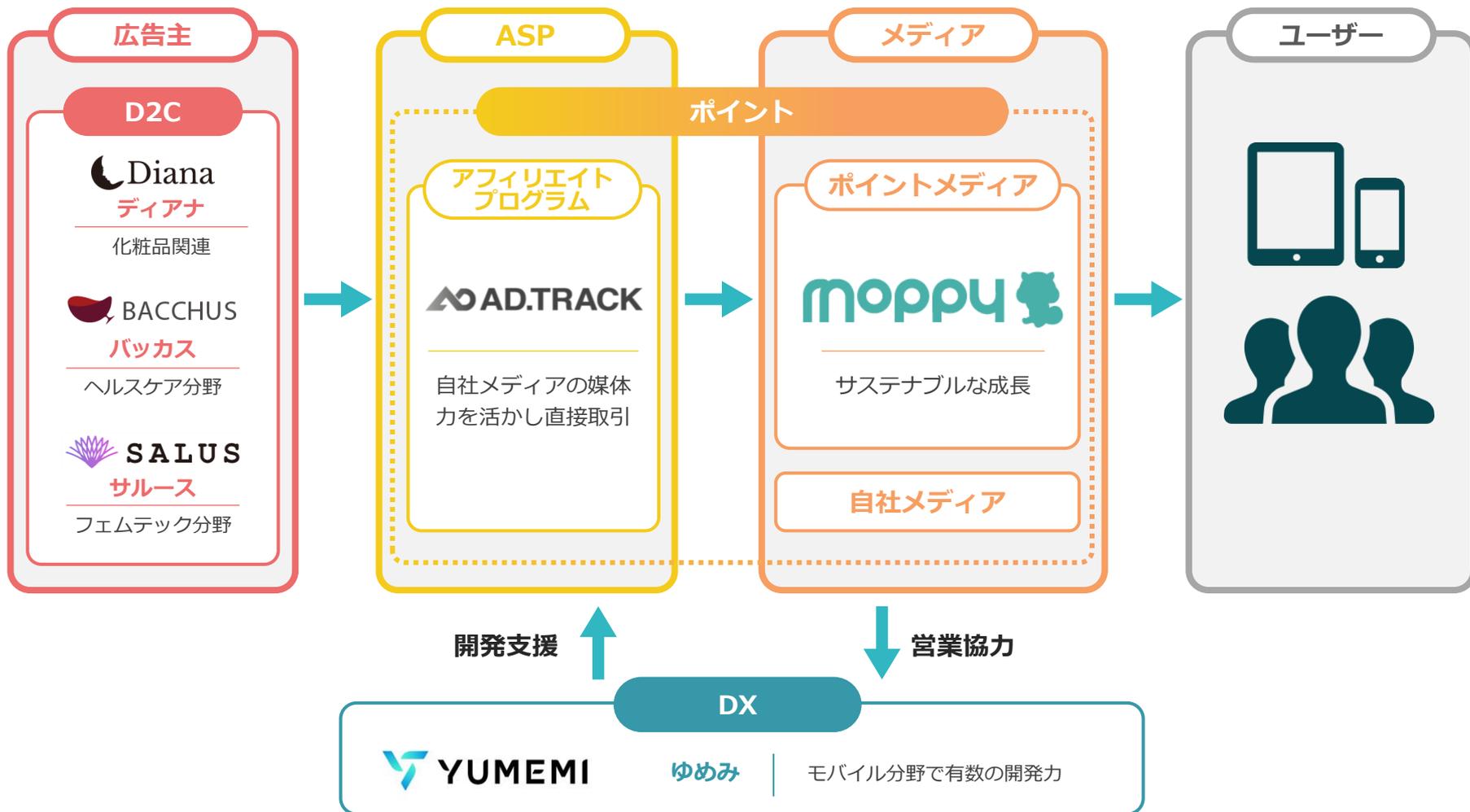


2. 各事業の業績

モバイルサービス事業

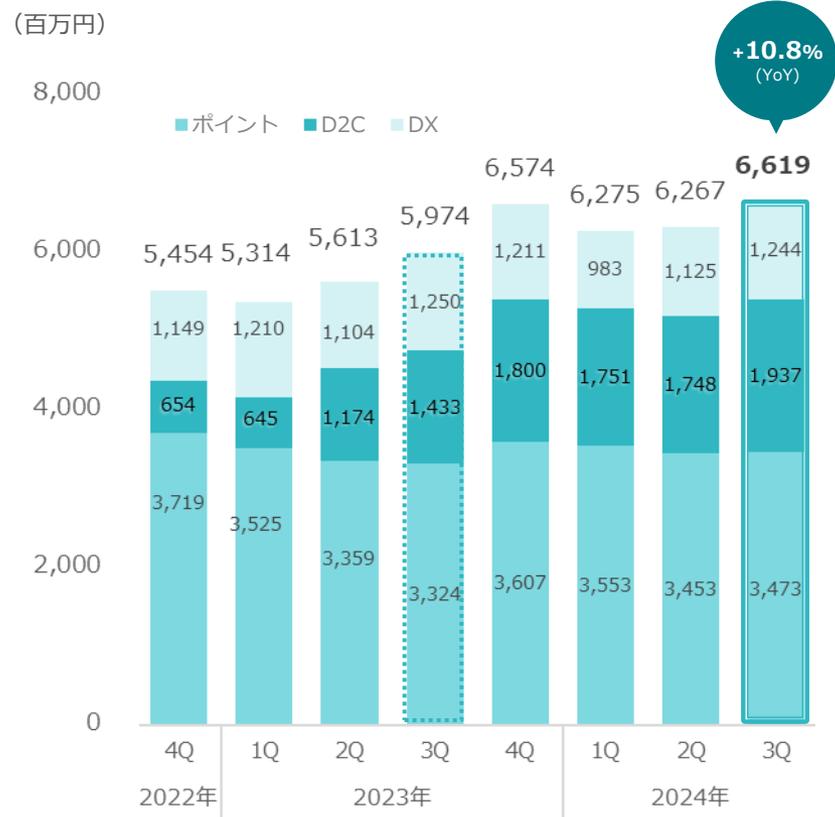
フィナンシャルサービス事業

モッピー・アドトラック・D2Cの相互連携でシナジーを創出

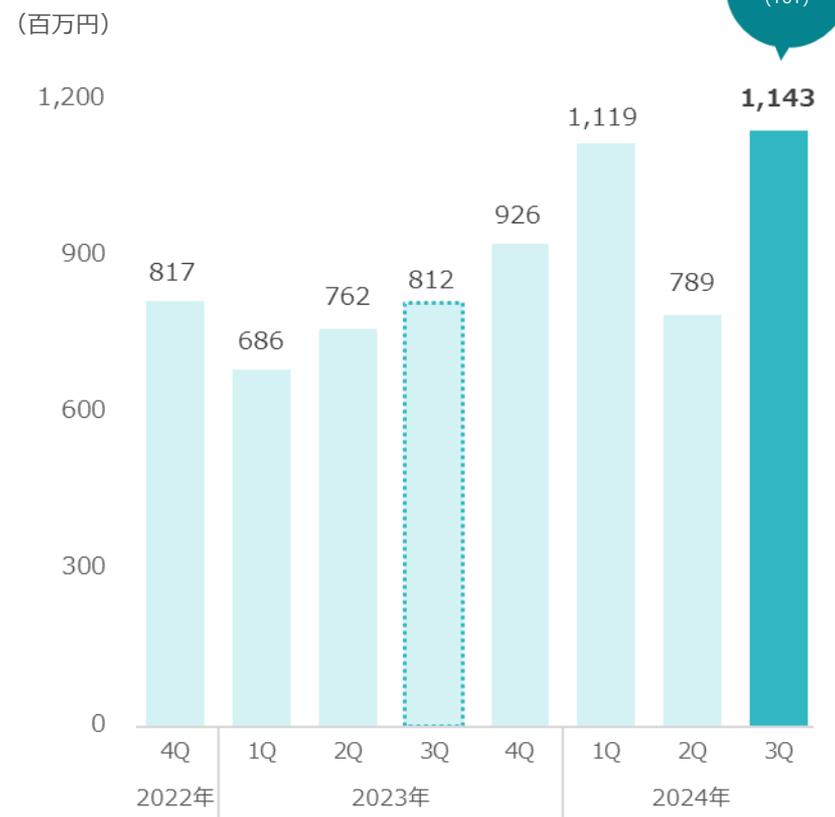


売上高はモッピー・D2Cが好調に推移、DXが復調し過去最高を更新
 営業利益は増収に加え、D2Cで成長と収益性の両立に成功し前年比40.7%増益

売上高

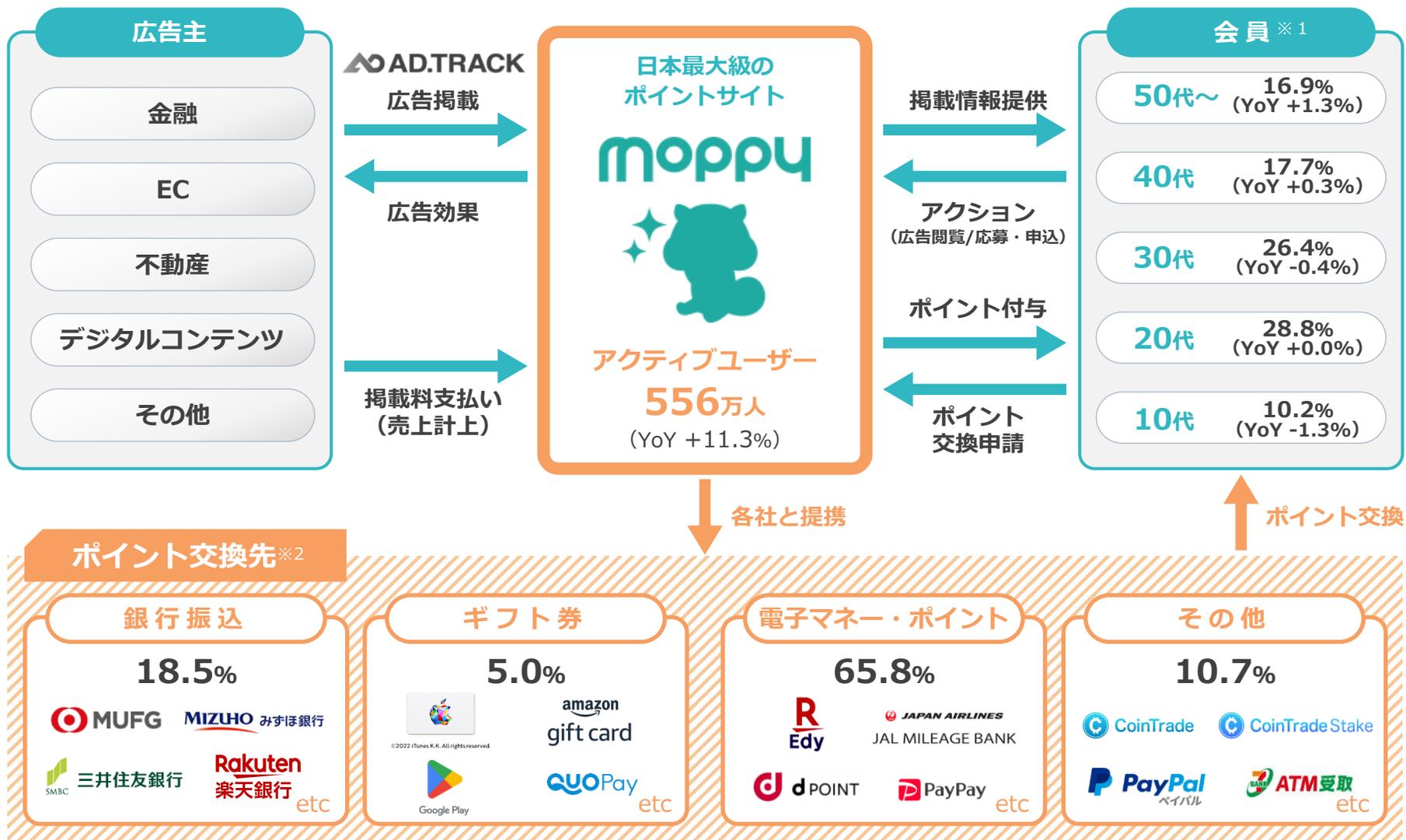


営業利益



※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

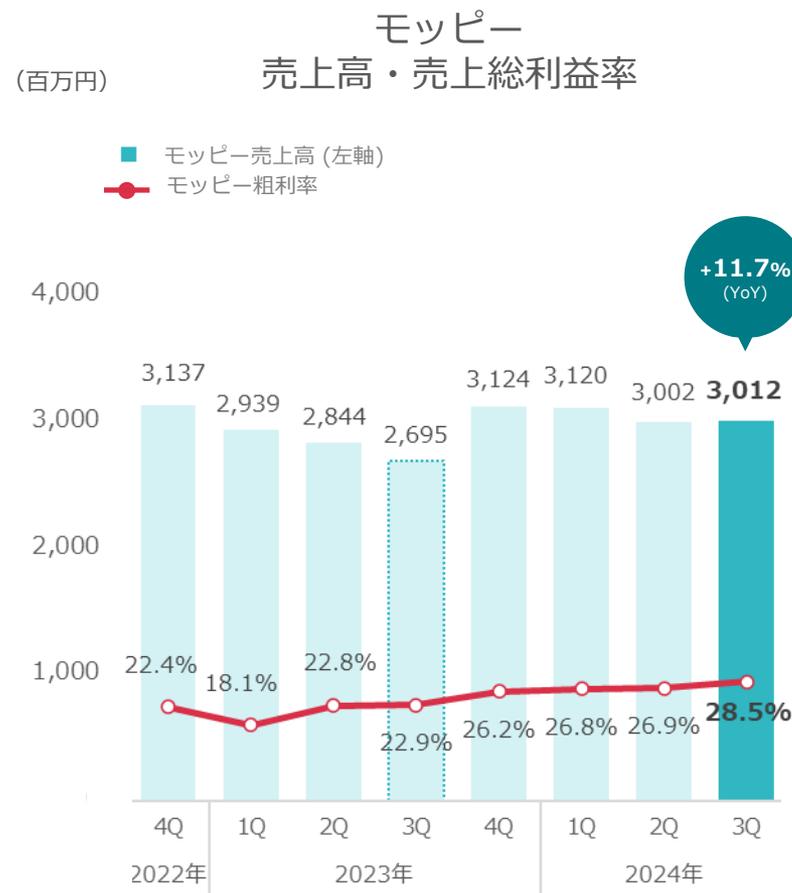
モッピーのビジネスモデル



※1 2024年9月末日時点の割合

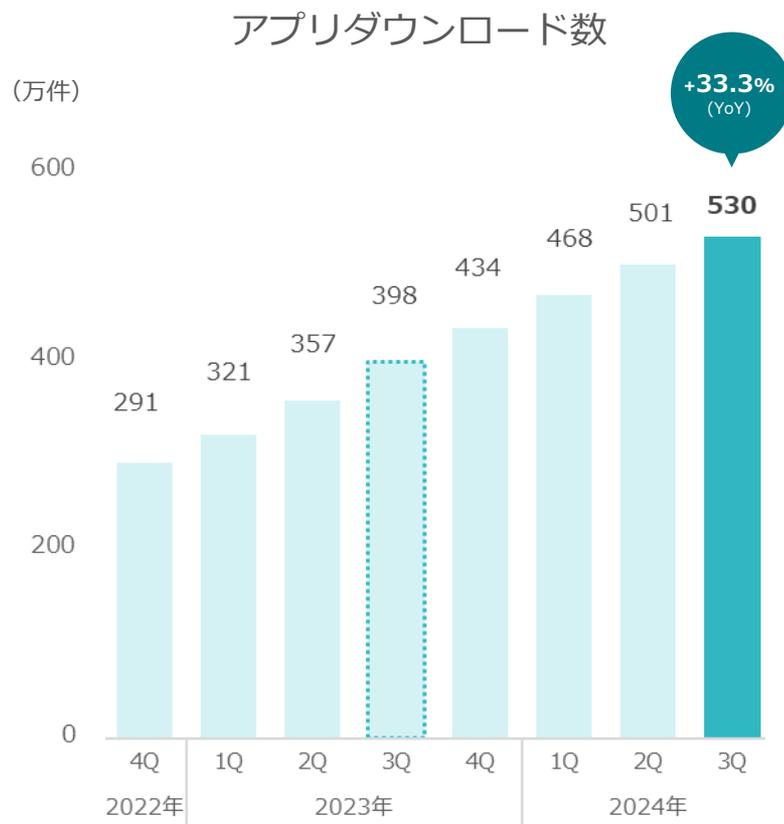
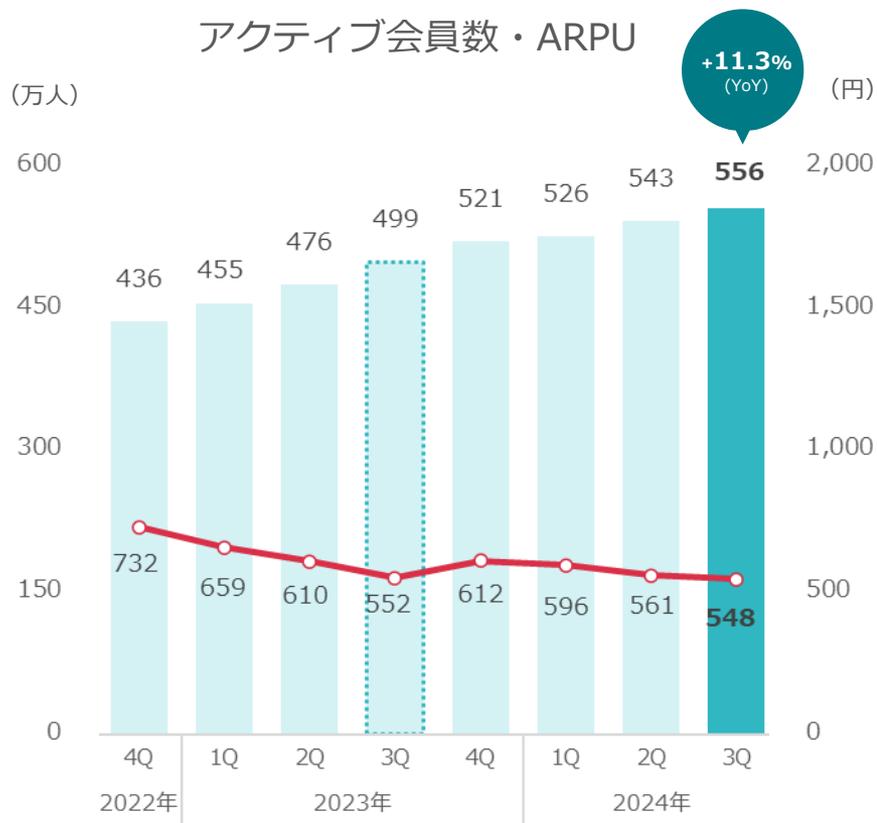
※2 2024年7~9月に発生したポイント交換割合

売上高はモッピーで金融案件中心に好調で閑散期の3Qでも底堅く推移
粗利率はモッピーでAD.TRACK連携好調に加え、4Qへ原価期ずれもあり高水準



※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

アクティブ会員数は前年比11%増と順調もARPUはゆるやかに低下傾向
1to1マーケ強化・案件多様化によりUUの増加・利用頻度の向上を図る



■ アクティブ会員数(左軸) ●- ARPU(右軸)

※ ARPUは、モッピーの四半期売上高を期中平均のモッピーアクティブ会員数で除して算出

オンライン宅配買取サービス「モッピーリユース」を2024年10月に開始 モッピーユーザーのポイント獲得機会を拡大し、サイト利用頻度の向上を図る

「モッピーリユース」
トップ画面
ファーストビュー



「モッピーリユース」
トップ画面
利用手順の説明



オンライン宅配買取サービス 「モッピーリユース」

- 発送用段ボール、配送料、査定がすべて無料のオンライン宅配買取サービス
- 3,000円（税抜価格）以上の買い取りの場合、買取金額の5%をモッピーポイントとして還元

急成長のリユース市場規模

(億円)



※ 出所：リユース経済新聞「リユース市場データブック 2023」

サステナビリティ活動の促進



リユース事業のスタートで
「モッピー×SDGs」を強化

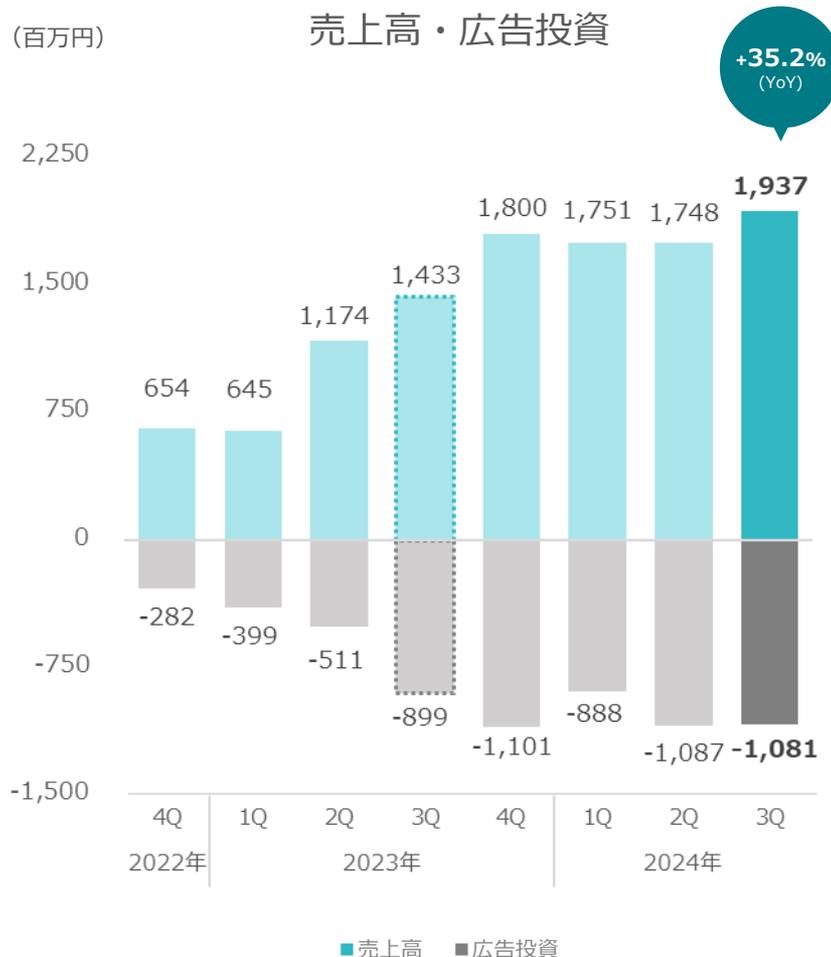


モッピー SDGs

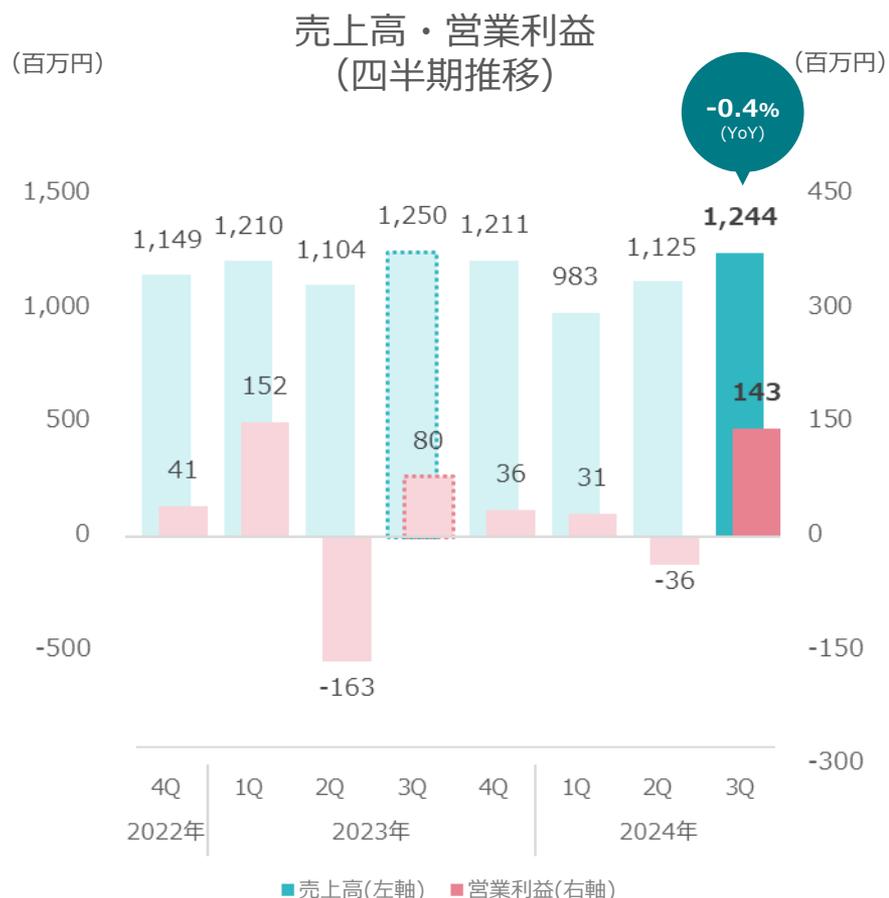
皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします



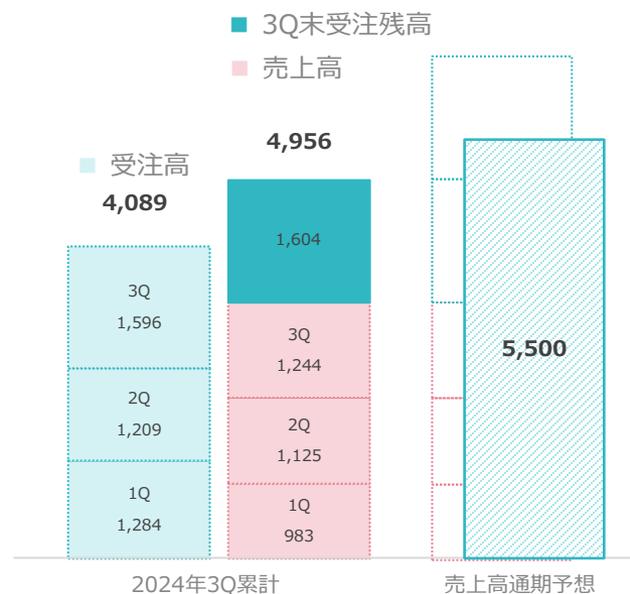
「オイグルト」ユーザーが好調に積み上がり、「ピットソール」も堅調を維持 広告投資のコントロールを徹底し、売上高の成長と利益確保の両立を実現



デザイン案件をフックにしたアップセルが奏功し、売上高は1Qを底に回復傾向
受注好調によりエンジニア稼働率が改善し、前四半期の赤字から1.4億円の黒字へ



受注高の推移・
業績予想の進捗状況 (百万円)



※ 2024年1Q以降、一部準委任契約案件の収益にかかる会計方針の見直しにより売上高計上の期ずれが発生しております。

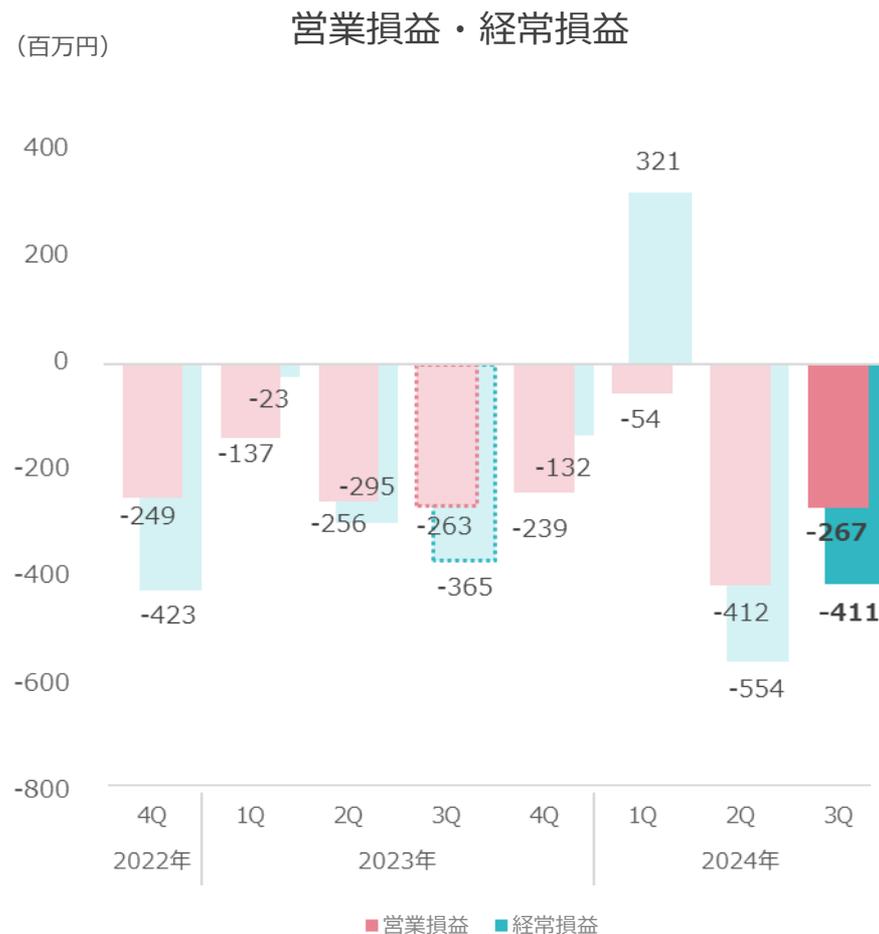
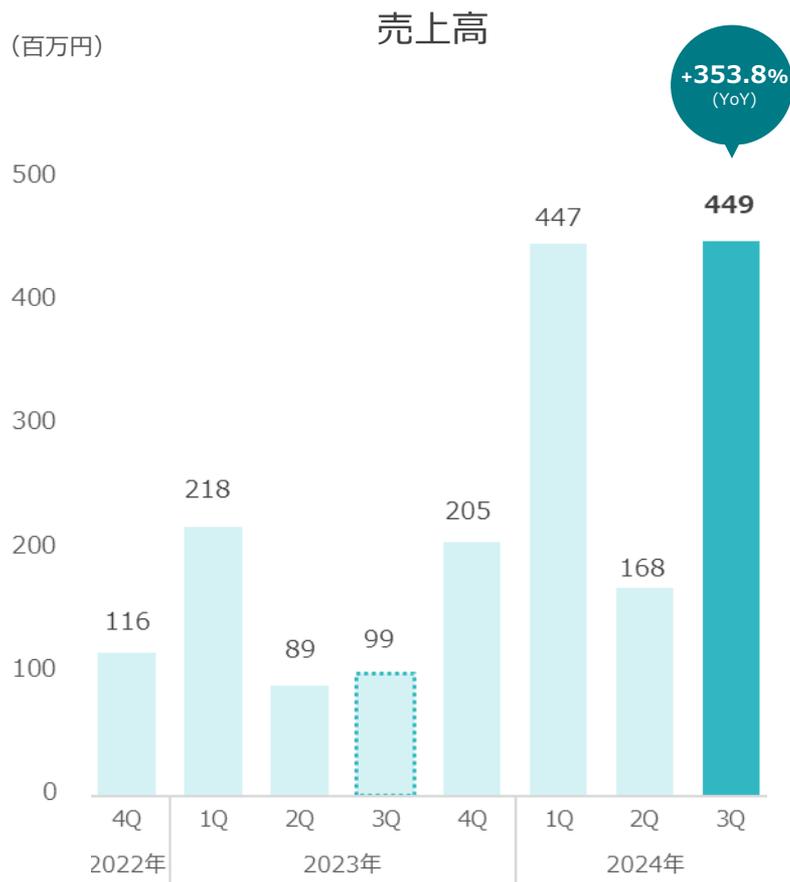


2. 各事業の業績

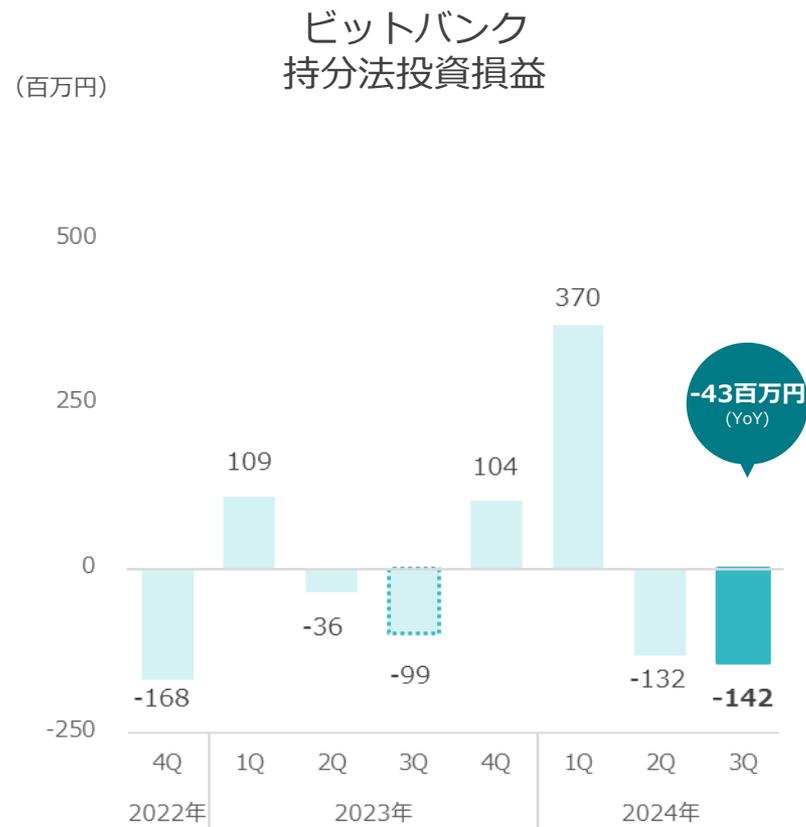
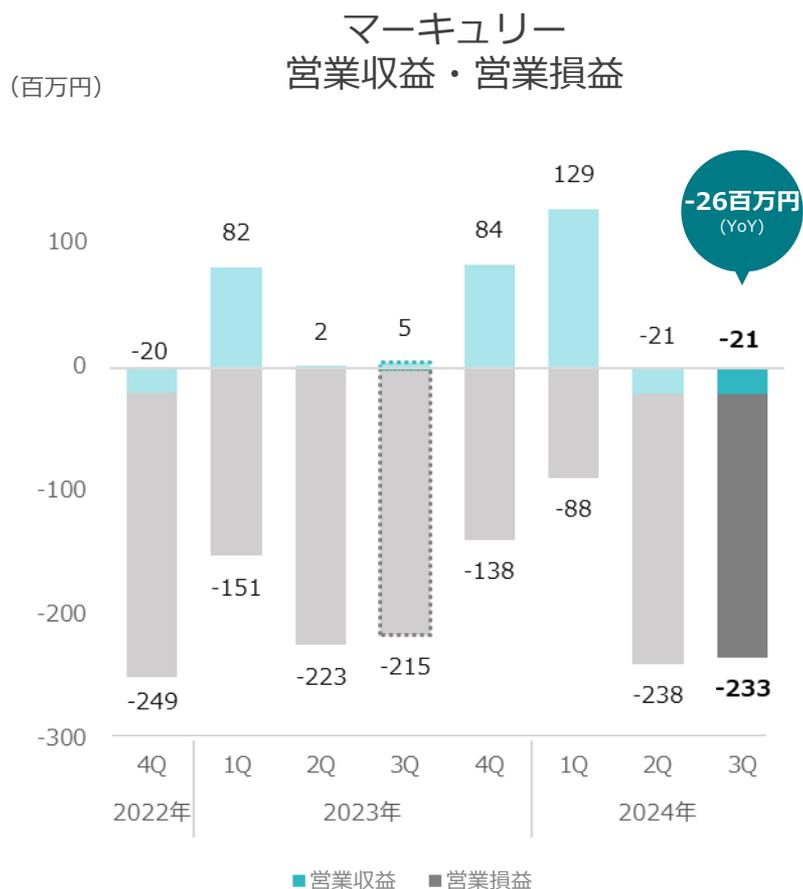
モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

売上高はラボルGMVが前年比3.7倍に伸長し、CVC株式売却もあり大幅増収
マーキュリーとBBで暗号資産価格下落の影響を受け営業・経常損失を計上



マーキュリーは暗号資産価格の下落により前年同期と比較し営業損失が拡大
 ビットバンクも持分法投資損失が前年比で拡大、信用取引開始予定（11月11日）



運用サービスを多様化することで暗号資産のトータル運用プラットフォームを目指す
暗号資産を新たなアセットクラスとして確立し、幅広い投資家層の取り込みを図る

- 1 保有資産の有効活用**
相場低迷時でも資産を有効活用
- 2 安定した収益**
インカムゲイン
- 3 相場上昇時**
キャピタルゲイン
- 4 リスク分散**
新たなアセットクラス

暗号資産における トータル運用プラットフォームへ

ステーキング



- 全**19**銘柄上場
内**12**銘柄でステーキング
- APR※**0.5%~12.0%**

レンディング

ZPG	APR 最大	0.1%
ZPGAG	APR 最大	0.05%
ZPGPT	APR 最大	1%

積立買い付け (開発中)

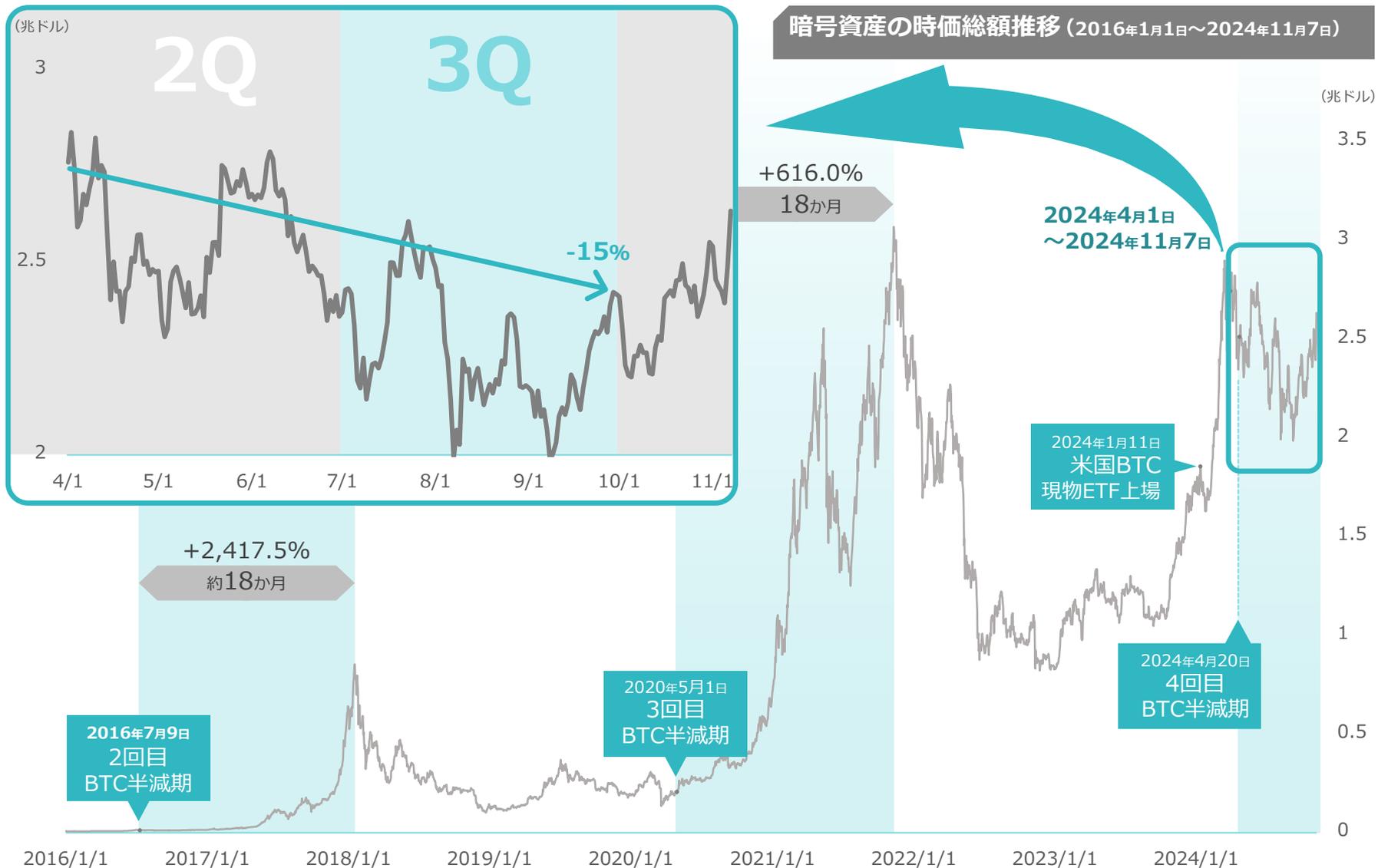
- インカムゲインをとりながらドルコスト平均法でキャピタルゲインのリスクも低減
- 変動の大きい暗号資産でも投資タイミングに迷わない

順次銘柄追加

※1 ポリゴン (MATIC) はPOLへの移行のため2024年11月8日現在、入出金・取引を停止しています。

※2 「APR」：年換算利回り

暗号資産の時価総額推移



※ 出所：CoinGeckoよりセレス作成（2024年11月7日現在）

オンラインファクタリングのラボルは第三者割当増資を実施し5.5億円を調達
積極的な事業投資により収益拡大を加速し、株式公開を目指す

ラボルの
事業



ファクタリング

フリーランスの請求書(売上債権)
を買い取ることで入金(資金調達)
を早期化させ、資金繰りを支援

カード払い

口座振込が必要な支払いをクレジ
ットカード支払いに切替え、現金
準備を後倒しにさせることで資金
繰りを支援



与信データ



10月 第三者割当増資
約5.5億円
調達実行

- 東京大学/大学院との共同研究で機械学習を進化
- 業務効率向上のためAI人材の採用強化
- 与信データを活用した新規サービスの開発

✓ 既存事業の収益拡大

✓ 新たなサービス開発

フリーランスの活躍を支援する“チャレンジャーバンク”を目指す

3Qはブロックチェーン領域のスタートアップ1社に30百万円の投資を実行
セレス出資先1社の株式売却を実行、売上高2.5億円・売却益0.5億円を計上

(2024年9月末)



モバイルサービスと連携

メディア・D2C関連



フィナンシャルサービスと連携

フィンテック・ブロックチェーン関連



valuedesign



adish



Amazia toridori

IPO実績 8社



APPENDIX



APPENDIX

会社概要

インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、
様々なマーケティングサービスを提供することにより、
豊かな社会生活の実現をはかります。

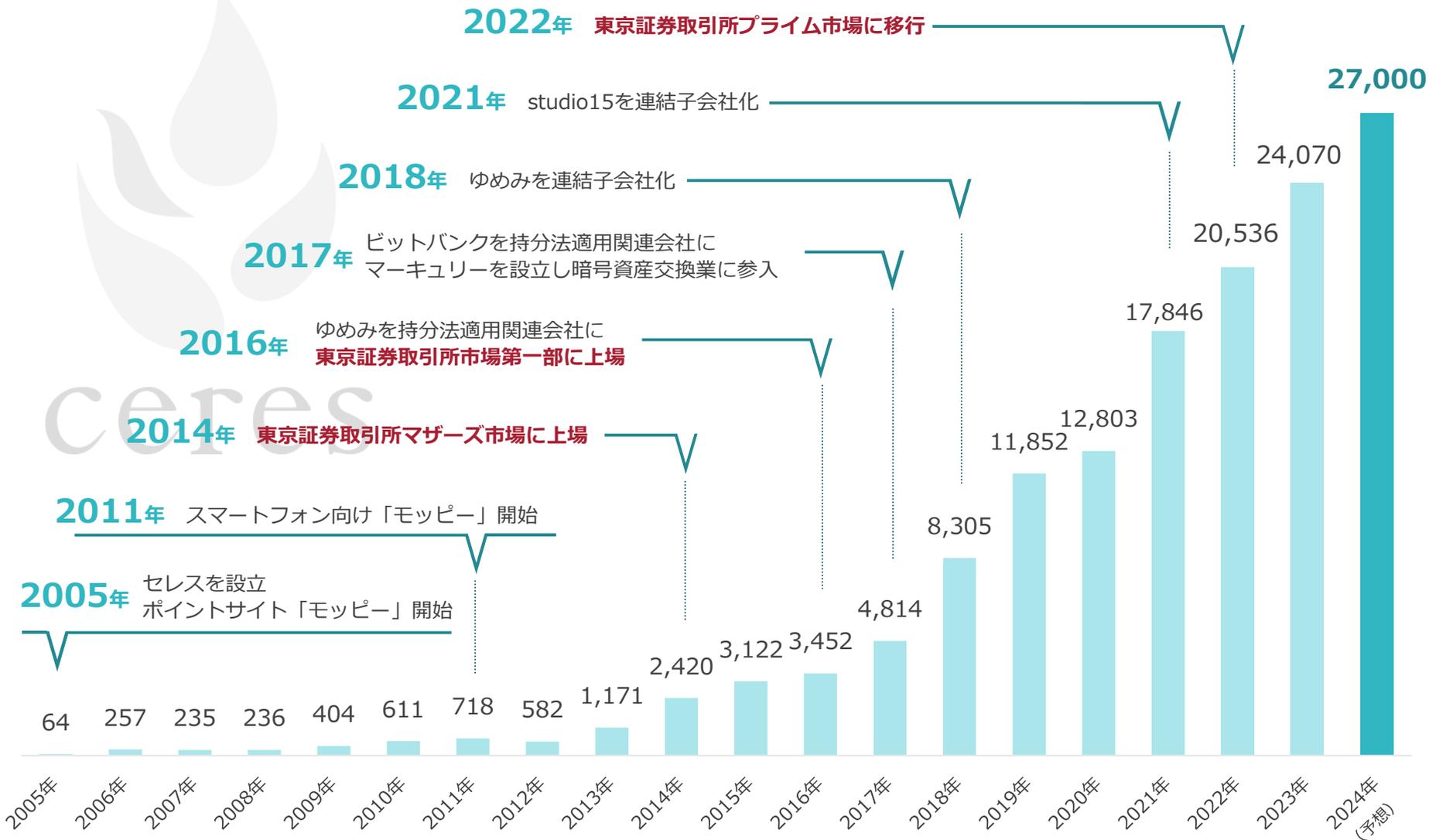
「トークンエコノミーを創造」



CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穡の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。



会社名	株式会社セレス
設立年月日	2005年1月28日
所在地	東京都渋谷区桜丘町1番1号 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー21F
決算期	12月
資本金	21億2,506万円（2024年9月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
従業員数（連結）	670名（2024年9月末／臨時雇用者除く）
事業内容	モバイルサービス事業 フィナンシャルサービス事業
連結子会社	株式会社マーキュリー、株式会社ディアナ、株式会社バックス、studio15株式会社、株式会社ラボル、株式会社サルス、株式会社アポロ・キャピタル、株式会社ゆめみ、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合
持分法適用関連会社	ビットバンク株式会社



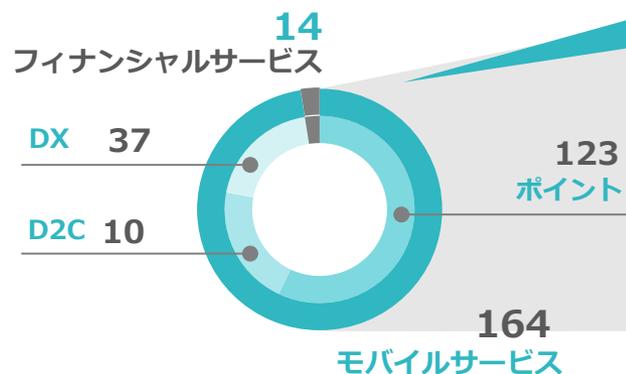
※ 売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定して記載しております。

売上高 (単位: 百万円)

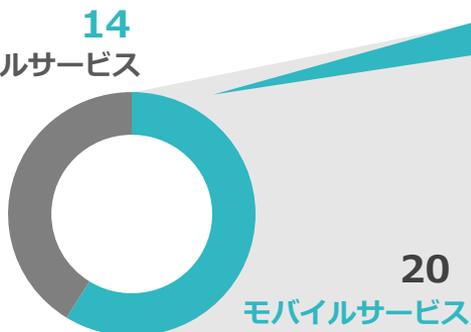
中期経営計画2026の売上・利益構成

2021

売上高
178億円

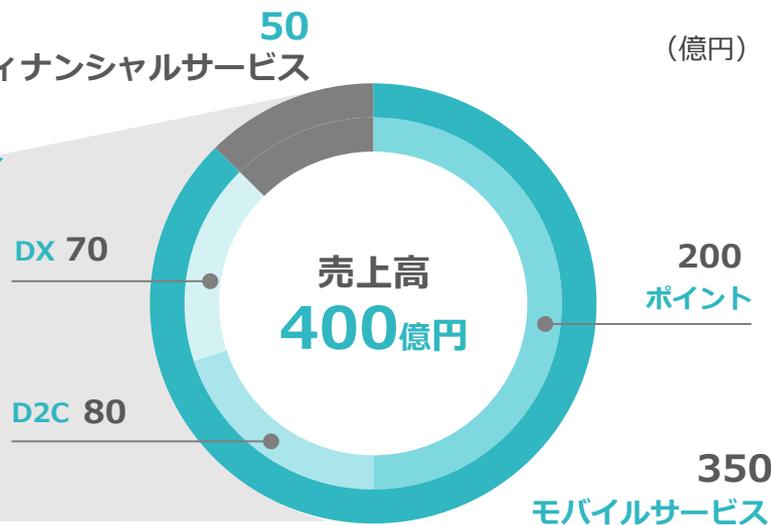


経常利益
34億円



2026

売上高
400億円



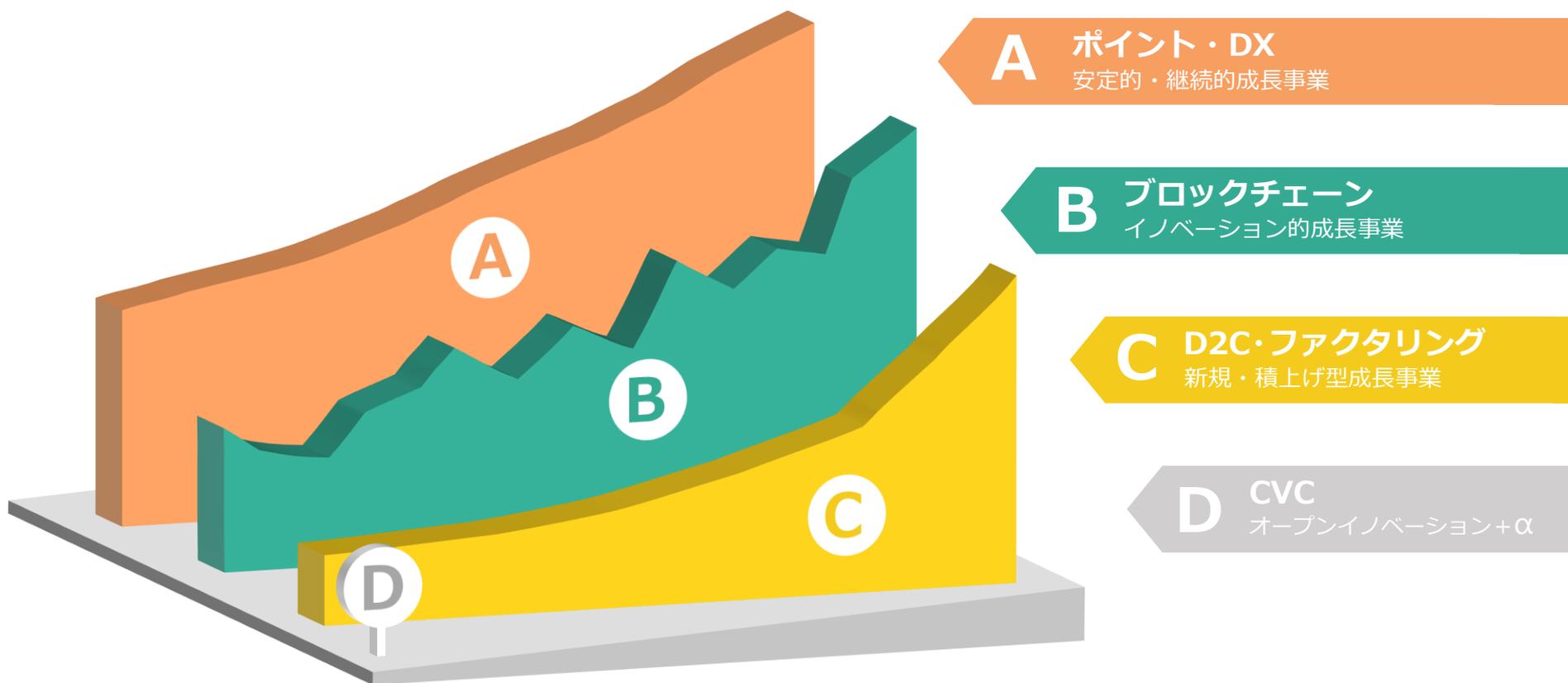
経常利益
100億円



主力のモッピーで安定的にキャッシュを創出し成長分野に積極投資 成長モデルの異なる事業を組み合わせ持続可能な事業ポートフォリオを構築

	セグメント	運営会社	サービス		
モバイルサービス	ポイント	株式会社セレス studio15株式会社	 	 	
	D2C	株式会社ディアナ 株式会社バッカス 株式会社サルース			
	DX	株式会社ゆめみ			
フィンシャルサービス	ブロックチェーン	株式会社マーキュリー ビットバンク株式会社			
	オンライン ファクタリング	株式会社ラボル			
	CVC (ベンチャーキャピタル)	株式会社アポロ・キャピタル			

成長モデルの異なる3つの事業ポートフォリオで中期成長をはかる
ポイント・DXで安定成長しブロックチェーン・D2Cで非連続な急成長を





APPENDIX

サステナビリティの取り組み

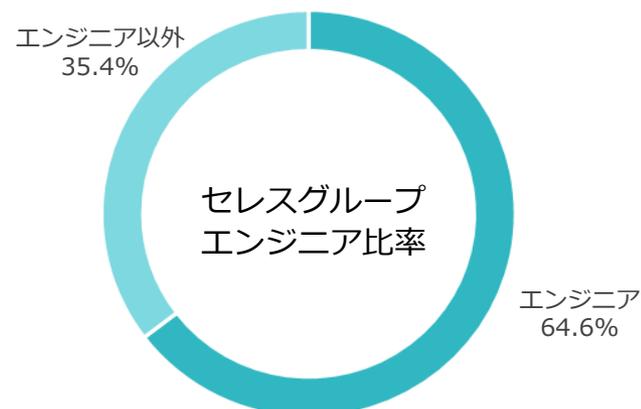
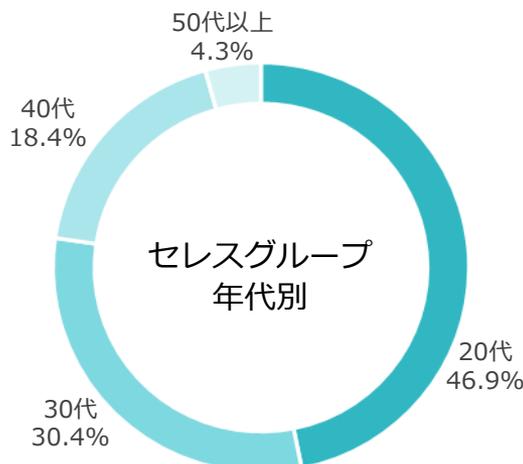
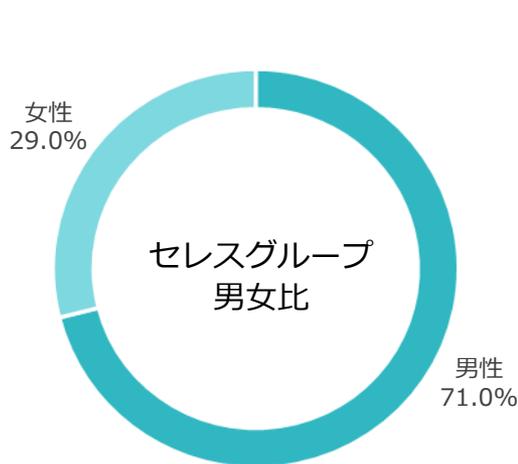
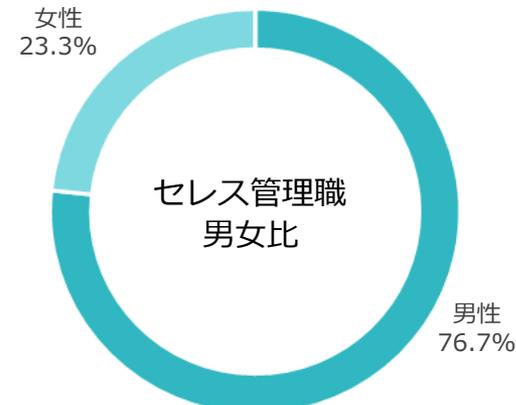
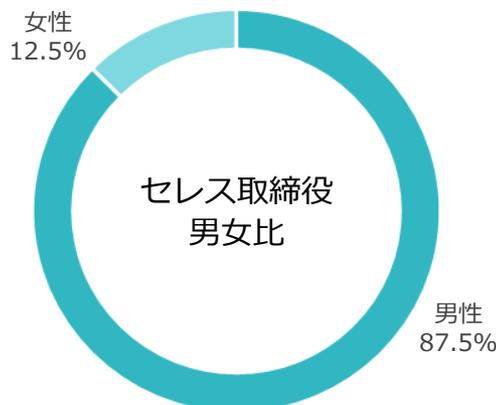
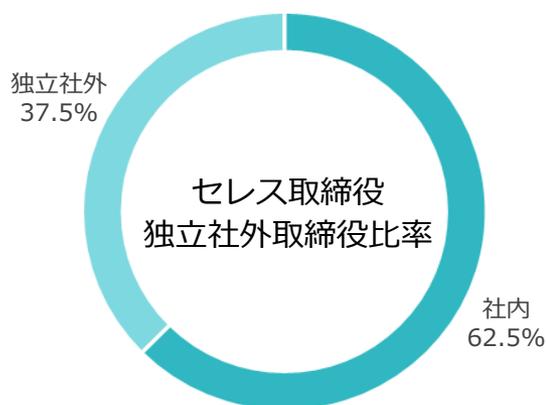
サステナビリティ経営における7つのマテリアリティ

特に注力して取り組むテーマである「7つのマテリアリティ」 サステナビリティ経営においてこれまでのESG戦略を一層強化

マテリアリティ		関連するSDGs					
1	自社サービスを通じた豊かな社会の実現への貢献						
2	オープンイノベーションによる社会課題解決・経済発展への貢献						
3	デジタル広告の公正な運用と業界の健全な発展への貢献						
4	環境に配慮した製品・サービスの提供						
5	多様な人材の活躍						
6	情報セキュリティとプライバシー						
7	コーポレートガバナンスの強化						

※サステナビリティサイトURL : <https://ceres-inc.jp/CSR/>

コーポレートガバナンスの取組強化により中長期的な企業価値向上へ持続的成長のためにジェンダー平等などダイバーシティの充実を推進



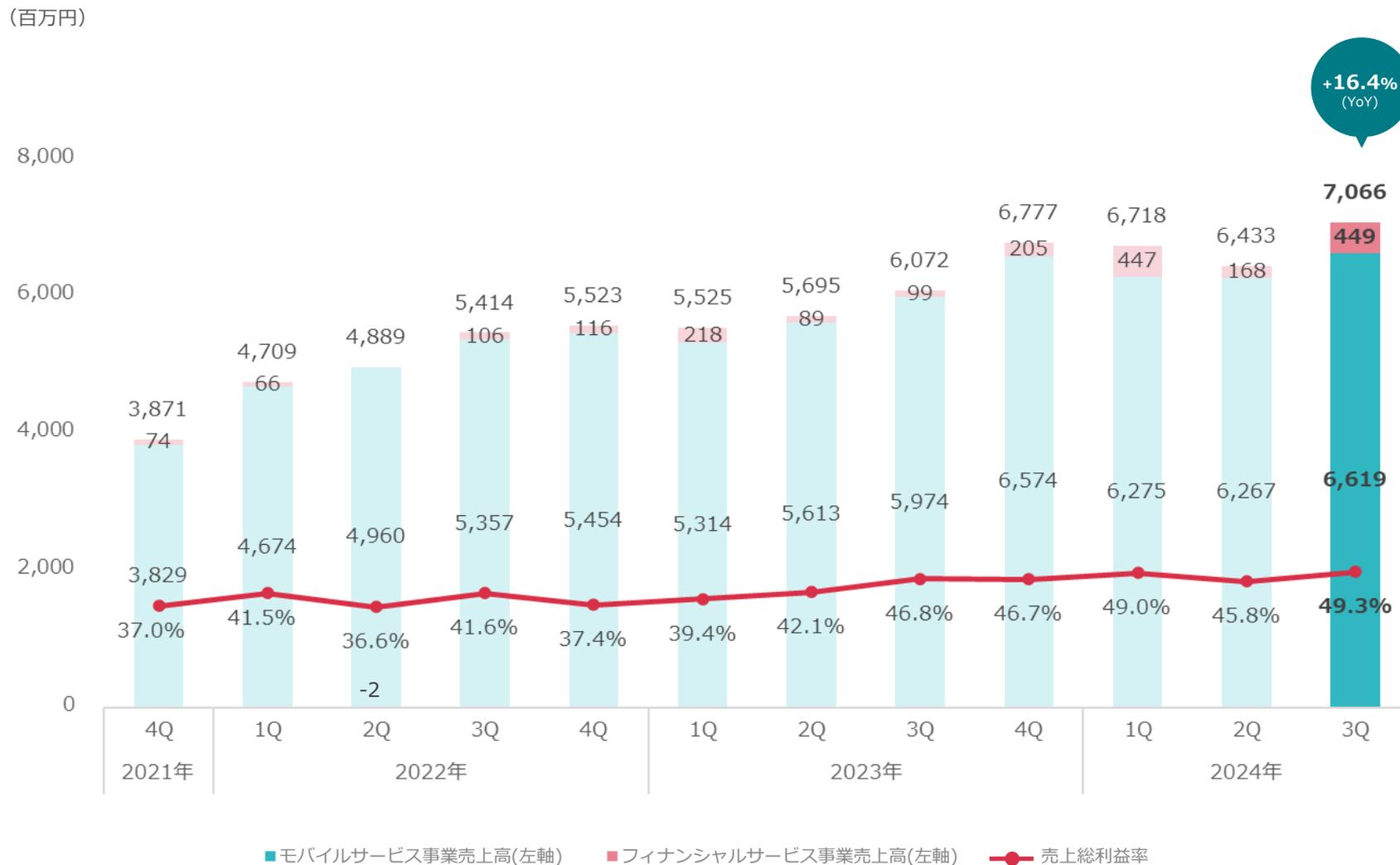
※ 2024年1Qより有価証券報告書の記載内容に合わせて管理職の定義を変更しております。
※ データは2024年9月末時点



APPENDIX

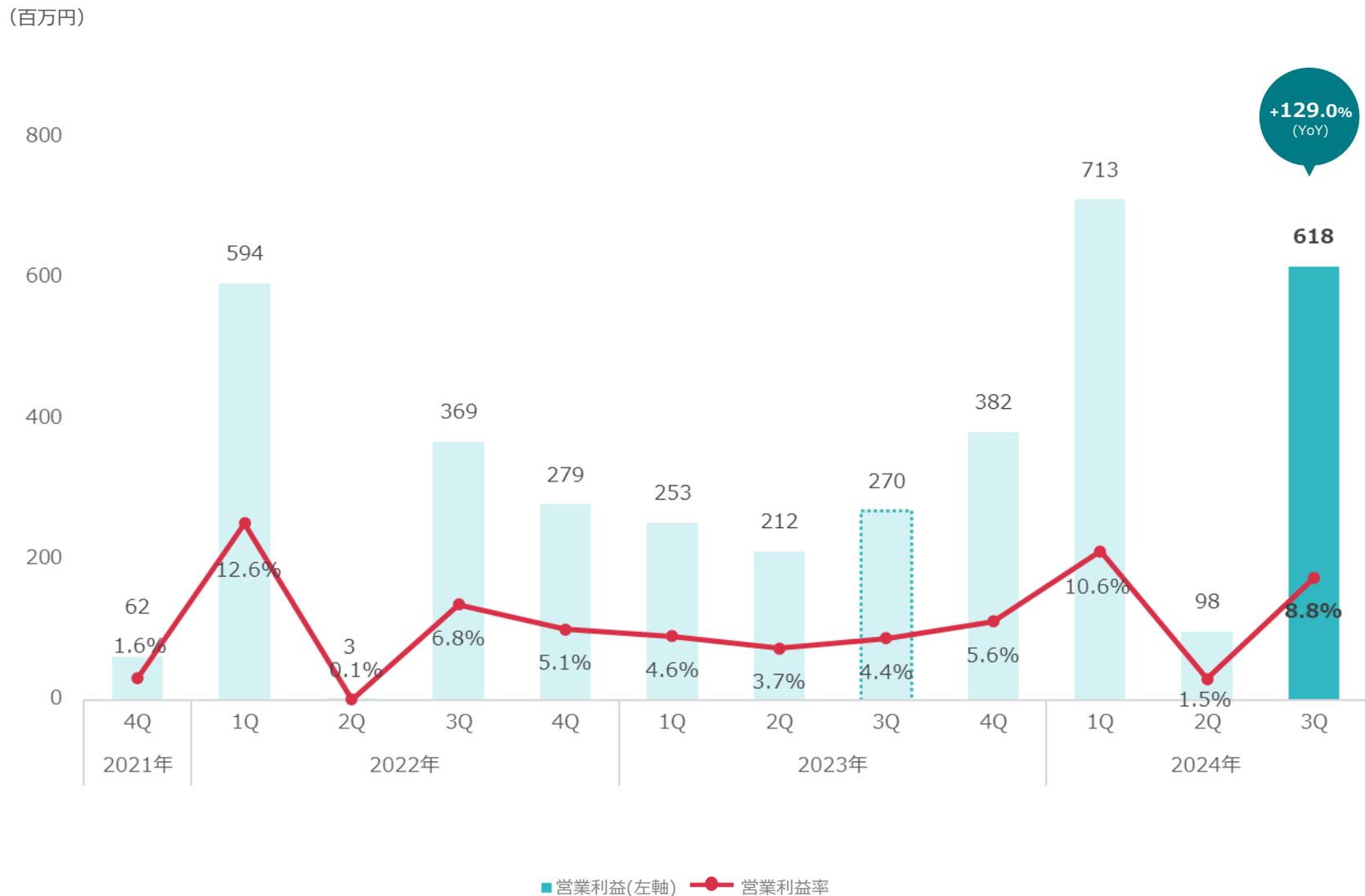
業績推移

四半期売上高推移



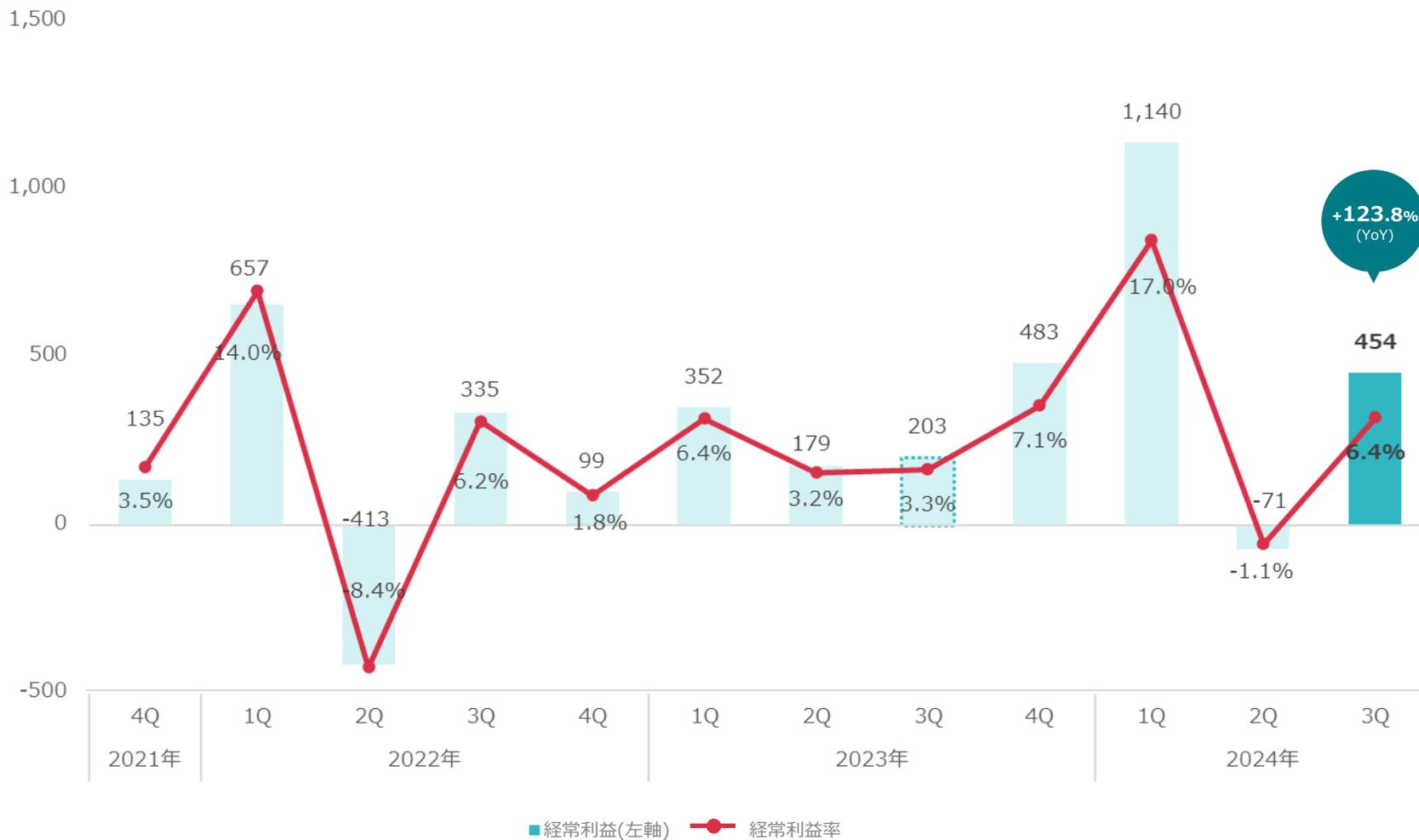
※ 2021年度以前の売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定した数値で記載しております。
 ※ セグメント内区分の変更により2021年度以前のモバイルサービス事業の内訳を修正して記載しております。
 ※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

四半期営業利益推移



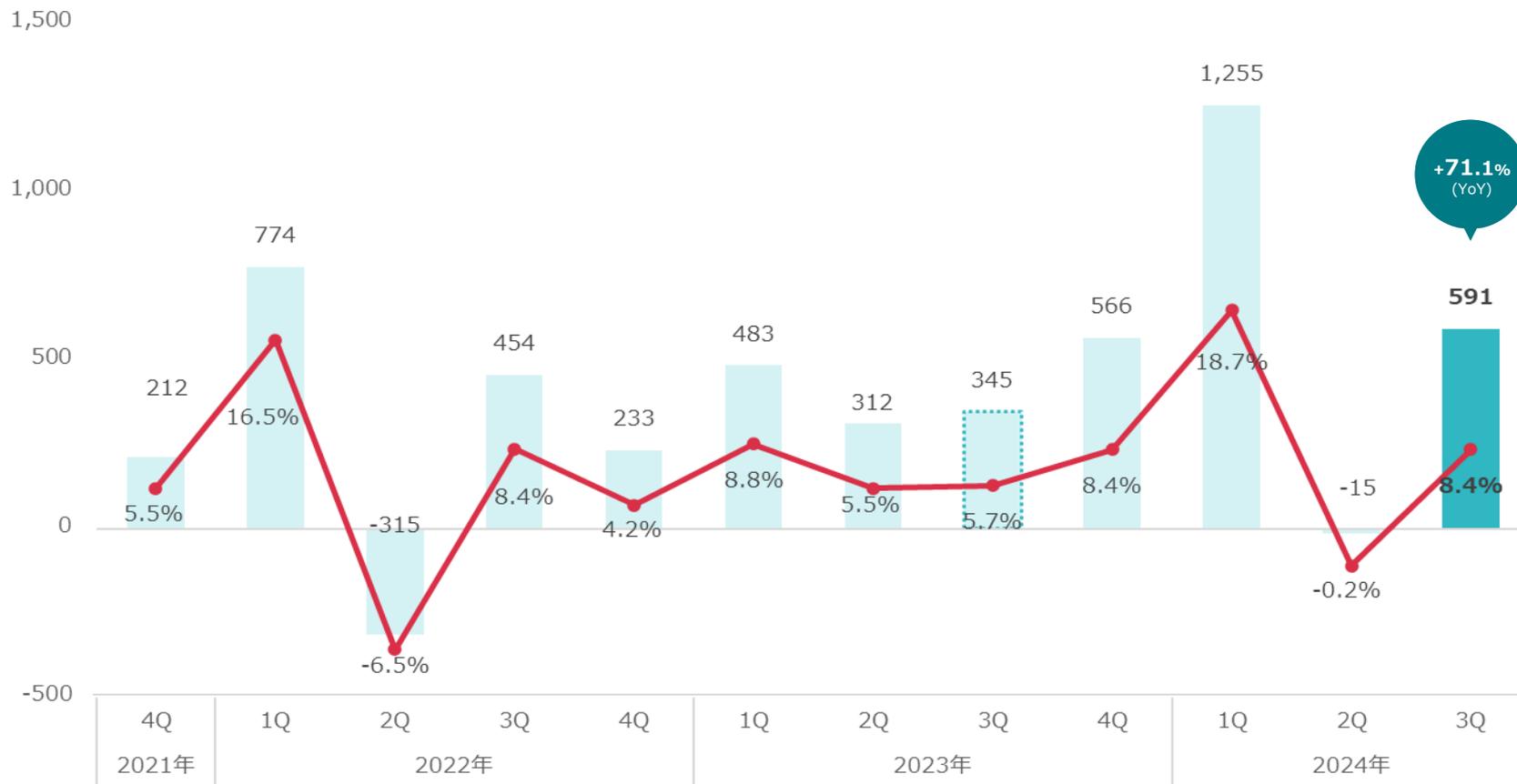
四半期經常利益推移

(百万円)



四半期EBITDA推移

(百万円)

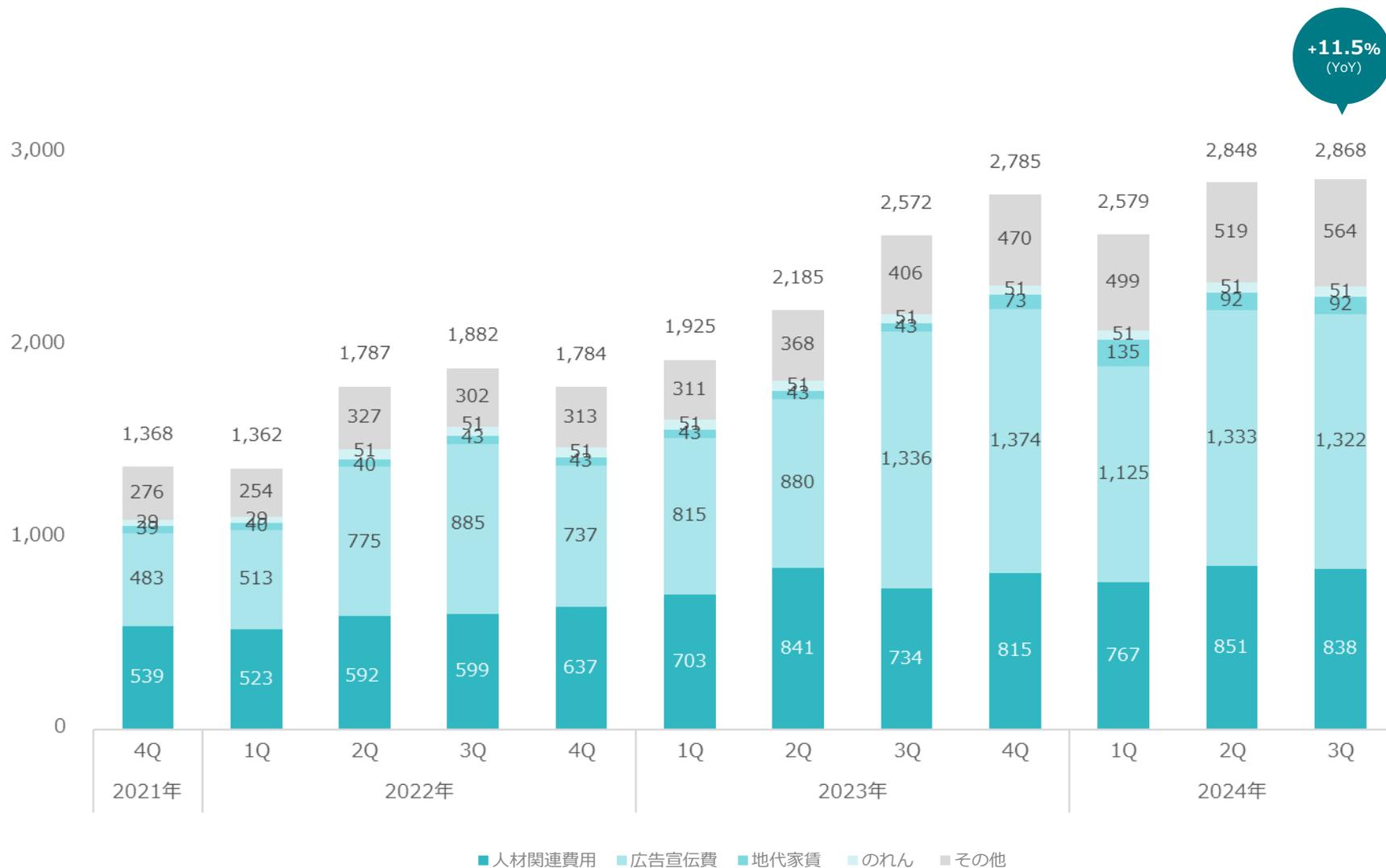


■ EBITDA(左軸) ● EBITDAマージン

※ EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 評価損

四半期販売費及び一般管理費推移

(百万円)



従業員数推移



■ エンジニア ■ マーケティング ■ コーポレート

※ 契約社員、派遣社員、アルバイト は含まず

四半期売上高

(単位：百万円)	2022年	2023年				2024年		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	5,523	5,525	5,695	6,072	6,777	6,718	6,433	7,066
モバイルサービス事業	5,454	5,314	5,613	5,974	6,574	6,275	6,267	6,619
ポイント	3,719	3,525	3,359	3,324	3,607	3,553	3,453	3,473
D2C	654	645	1,174	1,433	1,800	1,751	1,748	1,937
DX	1,149	1,210	1,104	1,250	1,211	983	1,125	1,244
セグメント内取引高	-68	-66	-25	-32	-45	-13	-60	-35
フィナンシャルサービス事業	116	218	89	99	205	447	168	449
セグメント間取引高 / 調整額	-47	-7	-6	-1	-2	-4	-3	-2

四半期営業利益

(単位：百万円)	2022年	2023年				2024年		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業利益	279	253	212	270	382	713	98	618
モバイルサービス事業	817	686	762	812	926	1,119	789	1,143
フィナンシャルサービス事業	-249	-137	-256	-263	-239	-54	-412	-267
調整額	-288	-294	-293	-279	-304	-351	-278	-257



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。